

## 民間の家具専門学校 「飛騨国際工芸学園」を訪ねて

学校法人 創造社学園  
専門学校 飛騨国際工芸学園

職業能力開発総合大学校 赤松 明

### 1. はじめに

名古屋駅より高山本線の特急電車に2時間ほど揺られた高山駅からタクシーで15分あまり行った高台に専門学校飛騨国際工芸学園があります。飛騨高山は、世界遺産に指定された白川郷の合掌造りの民家、高山市内の町屋建築、そして漆塗りで有名な春慶塗りなどの伝統的な木の文化が現在に受け継がれ、多くの木工企業や工房が建ち並ぶ土地柄です。

本学園は、1988年4月岐阜県高山市漆垣内町に開学され、現在、学校法人創造社学園（デザイン専門学校 大阪府）により、全国で唯一の家具を専門課程におく私立の専門学校として、特色あるカリキュラムに基づき教育訓練がなされています。

### 2. 教育方針

飛騨国際工芸学園は、創造社デザイン専門学校（1967年設立）と姉妹校の関係があります。デザイ

ン専門学校でデザインを教える側も学ぶ側も、ボードでのプレゼンテーションのデザインワークに飽きたらず、自分の考えたことを実現して、相手に見せなければ説得力がなく客観的に自己評価もできない。そして、外部からアクセスもないということから、何らかの実証的な学習がデザイン学校には必要であるという考えのもと、1993年に創造社学園の系列校として合併、本館棟、実習棟、体育館、学園寮などで構成された約53,000m<sup>2</sup>の広大な敷地に、本学園は継承されました（図1、2、3）。

さらに、本学園は、＜地球工芸＞というキーワードで表される教育方針によって運営されています。この地球工芸とは、①自然とふれあうモノづくり：ごくふつうの生活に潤いをもたらすふつうのモノを素直な心で作る。②開かれた工芸：自然にふれ、時代を見つめ、個人の利を超えて人と交わり、そこから生活の質や文化を確かめ、工芸というモノづくりにつなげる。③思想ある技：時代の変革の波に流さ



図1 飛騨国際工芸学園



図2 実習棟



図3 あすなる寮(宿舎)

れることなく、必要な技術を必要な箇所に適切に生かすという思想を持った技を探求する。ということです。

### 3. 国際工芸専門課程

飛騨国際工芸学園には、国際工芸専門課程として本科および応用研究科が設置されています。本科は、修業年数2年(総定員80名:入学定員40名)の生活

工芸学科家具専攻であり、工芸家具コース・創作家具コース・造作家具コースからなっています。家具専攻では、木材を主材料に、デザインと加工技術が一貫して学べ、デザイン、素材、作図、模型づくり、木取り、組み立て、加工、仕上げができるようカリキュラムが編成されています。表1に家具専攻のカリキュラムを示します。1年次には、発想の方法、デザイン、製図、手加工、機械加工の基礎を、実際に家具を作りながら学べるようになっています。2年次では、「創作家具コース」・「造作家具コース」・「工芸家具コース」に分かれ、より専門的に、より高度な学習ができるようになっています。

なお、「創作家具コース」は、素材やデザインを既成概念にとらわれないで、自由な発想の家具を提案することをこのコースの特色としています。「造作家具コース」は、住宅や店舗などのインテリア内装に係るオーダーメイド造作家具の企画デザインおよび住宅リフォームや店舗改装にも対応できる総合力を身に付けることを特色としています。「工芸家具コース」は、伝統的な素材や指物家具の技法を従来の趣味的な工芸とは異なり、現在の家具製作

表1 家具専攻カリキュラム

	本科1年				本科2年				卒業制作 〔9単位〕
	前期 [14単位]		後期 [14単位]		前期 [14単位]		後期 [14単位]		
	必修	専攻	必修	専攻	必修	専攻	必修	専攻	
家具専攻	総合基礎 〔3単位〕 自然観察 発想法 造形基礎 (手の道具) デザイン基礎 I 〔1単位〕 (コルゲートチェア) 加工基礎 I 〔2単位〕 手工具仕込み& 基礎製図 農業 I 〔1単位〕 地域理解 (特別講座)	デザイン基礎 II 〔1単位〕 (ノックダウンブライ ウッドチェア) 手加工基礎 I 〔2単位〕 1/1製図&加工 加工基礎 II 〔2単位〕 手工具仕込み& 基礎製図 農業 II 〔1単位〕	家具デザイン 〔1単位〕 (サイドテーブル) 手加工基礎 II 〔1単位〕 手加工基礎& 木工製図 機械加工基礎 I 〔2単位〕 1/1製図&加工 家具概論〔1単位〕 農業 III 〔1単位〕	機械加工基礎 II 〔2単位〕 1/1製図&加工 創作家具基礎製作 工芸家具基礎製作 造作家具基礎製作 農業 IV 〔1単位〕	デザイン集中 I 〔2単位〕 チェア基本 工房制作 I 〔2単位〕 チェア(木製) 1/1製図&加工 木工材料学 〔1単位〕	デザイン集中 II 〔2単位〕 キャビネット基本 工房制作 II 〔2単位〕 ダイニングチェア 1/1製図&加工 木工芸史 〔1単位〕	工房製作 III 〔2単位〕 1/1製図&加工 創作家具製作 I 工芸家具製作 I 造作家具製作 I エルゴノミクス 〔1単位〕	工房製作 IV 〔2単位〕 1/1製図&加工 創作家具製作 II 工芸家具製作 II 造作家具製作 II ポートフォリオ 〔1単位〕	卒業制作 〔9単位〕
	選択	CP基礎 デザイン論 〔1単位・選択〕	CP基礎 CAD基礎 〔1単位・選択〕	創作家具基礎演習 工芸家具基礎演習 造作家具基礎演習 〔2単位・選択〕 CAD基礎 塗装基礎 〔1単位・選択〕 生活・社人文・ 工芸史 〔1単位・選択〕	漆塗装 I / 洋塗装 I 〔1単位・選択〕 生活・社人文・工芸 史 〔1単位・選択〕	漆塗装 II / 洋塗 装 II CP実習 / 縫製実習 〔2単位・選択〕	選択デザイン I 〔2単位〕 (身体系家具) (複合材料) 創作家具演習 I 工芸家具演習 I (家具修復) 造作家具演習 I 漆塗装 III / 洋塗 装 III CP実習 / CAD実 習 〔2単位・選択〕	選択デザイン II 〔2単位〕 (収納系家具) 創作家具演習 II 工芸家具演習 II 造作家具演習 II 漆塗装 IV / 洋塗 装 IV 〔1単位・選択〕 家具デザイン実務、 工芸家具実務、造 形家具実務 〔1単位・選択〕	



図4 実習場



図5 家具の修復

に生かすことを目的とし、壊れた古い家具の修復や再生を実際に実習のなかにとりいれています(図4, 5)。

このような3つのコース設定により、家具に対する考え方の幅を持たせ、修学希望者の幅を広げることができること。そして、さまざまな家具づくりを互いに見ることで学生同士刺激しあい、自分の家具づくりのポリシーを深めることができるとともに、卒業後の自立・自営に役だたせることができること。このような考えが、このコースの設定の根底に流れています。さらに、二年次に、現場体験ということで、地元の(協)飛騨木工連合会・企業の協力を得て5日間の企業研修が行なわれています。この研修を通して、自分が職能としてどういうモノを考えていけるのか、社会のなかで、どのように自活していけるのかの方法を探る機会が設けられています。

一方、応用研究科は、修業年数1年(総定員10名)で、応用コース(家具ビジネス応用系)と研究コース(家具製作研究系)からなっています。応用コースは、自らが家具をプロデュース、デザインし製作販売することによってデザインや経営のマネジメントを実務的に学ぶことができます。研究コースは、デザイン開発など、家具製作技術を高める研究テーマに沿った学習と意匠権や製造者責任など法律やその手続きについて学ぶことができますようになっています。

#### 4. 学生

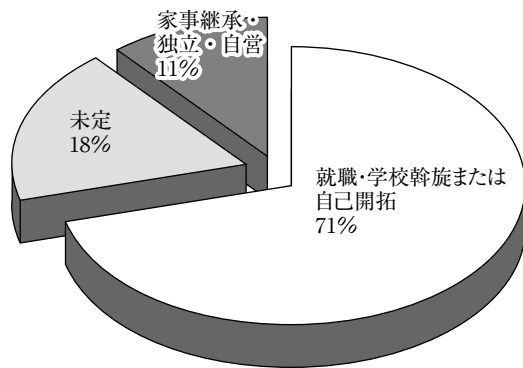
飛騨国際工芸学園の入学資格は、高等学校卒業または同等の学力のある者とされています。現在の学生は、年齢20歳代~40歳代で中部・東海・関東(東京)の出身者が多くを占めています。入学理由



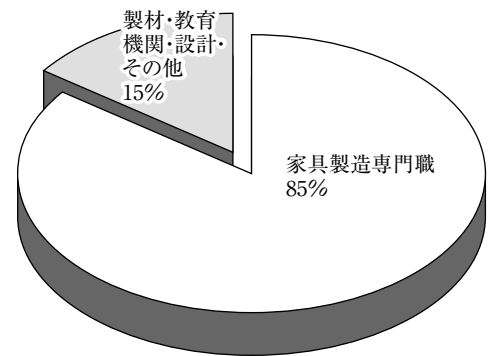
図6 東京国際家具見本市の学園ブース



図7 本館ロビー学生作品展示



進路の内訳



職業別就職状況

図8 進路の内訳と職業別就職状況 (2000年～2001年)

には次の2タイプあります。①リストラで自分の人生を再度仕掛けたい。定年退職後の暮らしの精神的な糧として家具づくりをしたい。②自分の仕事として営業を含め近い将来独立工房を起業したい。

一年生はできるだけ学園寮に入寮するようになっており、単身で学費も自己負担で修学しているケースがほとんどです。したがって、学生の修学意欲は旺盛で、学生とのコミュニケーションを綿密にとり、学生の意見を真摯に受け止めた教育方法や経営および運営がなされています。そして、多くの学生は、家具づくりを自分の生業として、自分の人生も満足させながら、自分の作品によって人に喜んでいただく、そして自分も喜べるということを理想としています。

### 5. Show & Shop (学生作品展)

作り手の価値観や思想を直接ユーザに伝え (Show)、客観的評価を作者自身が確認する。そして共感を得られた家具を直接販売する(Shop) ことで、教育と生産とユーザを結びつけるという考えのもと、本学園は、卒業制作展など学生の作品展 (図6, 7) を積極的に開催しています。これによって、学生がモノを作って、販売するとき、自分の作品にかけた努力に対する対価がいかほどなのかを実際に現場で体験しています。

### 6. 就職

本学園では、2年次から就職活動が始まり、地元企業だけでなく、出身地に近い木工関連企業に就職しています。本学園卒業生 (2000～2001年) の進路の内訳と職業別就職状況を図8に示します。本学園の学生就職活動の特色は、2年間の旺盛な修学意欲に見られるように、将来は独立して自分で工房を主宰したいと願っている学生が多いことです。自分で材料の手配から出荷までやりたいということから、たとえ薄給でも仕事を覚えることをメリットとし小規模の工房に就職しています。しかし、独立して工房を開くにしても、家具づくりの合理性・生産性・経済性や、PL法に見られる製造者責任の関係から、家具メーカーに3～5年就職し、その後、独立し工房を開く卒業生もいます。

### 7. おわりに

木の文化に支えられ、木工企業や工房が集中している飛騨高山の地にある飛騨国際工芸学園は、地の利を生かした、独自の教育訓練によって、多くの優秀な木工・家具に従事する後継者を育てています。そして、学園で行われているデザインしたこと、考えたことを実際に自分の手でつくり、実証していく姿勢は、モノづくりの原点のように思います。